

(6) グループカウンセリング教育研究会

会 長 井上 忠和 (西土佐中)
副会長 石崎 桂 (西土佐中)
事務局 山崎 千春 (具同小)

1. 研究主題 「人間関係を高める仲間づくりの研究」

2. 研究経過

実施年月日	研究のあらまし	会場	備考
令和6年5月7日	四万十市教育研究会 組織総会 内容：役員選出、研究主題設定、年間計画	中村中学校	14名参加
令和6年8月2日	四万十市教育研究会 夏季研修会 内容：エンカウンター講義・演習 講師 友永 しのぶ教諭 (土佐市立高岡中学校)	しまんとびあ	13名参加

3. 取組紹介

【夏季研修会】『子どもたちが安心できる居場所づくりのための「仲間づくり活動」』

(友永しのぶ先生)

○子どもの行動には必ず「要因(条件)」がある

ABC分析で適切な支援・対応を探る

Antecedents：先行条件・状況(行動が起こる直前の環境)

Behavior：行動

Consequences：行動の直後に起きた環境の変化

行動だけ見て判断しないで→人の行動はその人と周りの環境の相互作用によって形作られる

「してほしい行動」を増やす→個別の支援・実態把握が必要

○配慮が必要な生徒だけでなくクラス全体に有効な授業が基本＝UD

○クラスワイドな支援(PBS)

- ・ルールの提示
- ・肯定的な声かけ
- ・教室環境の構造化(板書も構造化)
- ・教師の立ち位置
- ・話し方の構造化
- ・評価の見える化(トークンエコノミー)

○やってみよう♪「つなぐ」仲間づくり活動(演習)

価値づけを大切に「○○ができたね」「こんなところが良かったよ」

グループ全員が参加する活動「みんなでやったからできたね」

友だちのいいところ・得意なことの発見

工夫：不器用な児童には他の役割を与える(タイマー係)など

- ・つまようじ積み
- ・グッドニュース探し
- ・新聞ビリビリ
- ・新聞タワー



○まとめ

- ・全員が「参加」できる、「関わりあえる」工夫を

○各校の仲間づくり活動の実践交流

【研修後アンケートより】

- ・昨年に続き、今年も新しい仲間づくりの手法を学ぶことができ、有意義だった。
- ・目的を意識することが大切であり、子どもたちと共通理解を図った上で取り組む必要があると感じた。
- ・具体的な仲間づくり活動（新聞タワー、新聞びりびりなど）を自分の学級でも実践したい。
- ・活動を「やるだけ」で終わるのではなく、「価値づけ」をすることが重要だと学んだ。
- ・仲間づくりは、学級経営だけでなく、教科の授業でも大切な要素であると再認識した。
- ・児童の行動の背景を考え、事前に適切な支援をすることが重要であると改めて感じた。
発達障害と診断されていなくても「困り感」のある児童がいるため、ABC分析を活用し、適切な支援を行いたい。
- ・クラスワイドな支援を進め、全員が「参加」できる学級経営を目指すことが必要だと感じた。
- ・児童同士の関わりを促すため、発達段階に応じた実践を行いたい。
- ・児童のタイプに応じた適切な褒め方や認め方を学び、実践に生かしたい。
- ・ほめ方にはバリエーションがあり、個々のタイプに合わせた対応が重要だと感じた。
- ・自分のやっていた「シールでのご褒美」が評価の「見える化」（トークンエコノミー）であり、不必要ではなかったことに安心した。
- ・講演内容が分かりやすく、すぐに実践できる具体的な内容が多かった。
- ・専門用語（ABC分析など）について学び、理解が深まった。
- ・日頃から児童への声かけを意識しているつもりだったが、言葉がけの違いが子どもの生きやすさに影響することを改めて考えさせられた。
- ・今までのやり方に縛られず、個別最適な対応を考え、児童と関わっていききたい。

4. 今年度の成果と課題

《成果》

- ・仲間づくりのさまざまな手法を学び、2学期以降の実践に活かせる内容が多かった。
- ・具体的な実践例を知ることができ、児童が活動するイメージを持ちながら学ぶことができた。
- ・講話と演習の両方があったため、新しい知識を得るだけでなく、実際に体験しながら理解を深めることができた。
仲間づくり活動を実際にやってみることで、活動の効果を体感できた。
- ・児童への声かけや関わり方について学び、日々の指導に生かしたいと感じた。
- ・各校の実践について意見交換でき困り感を共有することで、支援の方向性を考える良い機会になった。小学校・中学校を超えた意見交換ができ、幅広い視点で学ぶことができた。
- ・しまんとびあを会場として実施した。夏期の研修であるため空調の中で演習ができたのは環境面で良かった。

《課題》

- ・2時間半の研修時間内で、もう少し講話の時間を確保できるとよかった。
- ・各校の仲間づくりの活動の具体的な事例をもっと知りたかった。実践例を体験しながら交流する時間もあるとよい。